工夫が必要…取手の観光行政

飯島　悠介（ゆうすけ）　議員

問　現状の分析として、観光振興施策の中で、市の魅力となる特徴的事業は。

まちづくり振興部長　観光協会や所管課が行うイベントが中心。都内からの利用者も多く、取手らしさを押し出した企画で広報を図っていく。

問　経済波及効果を把握することにより観光振興施策の方向性が見えてくる。把握する意向はあるか。

答　市に来ての消費が経済効果と考えたとき、花火大会や競輪には多くの来場者があり、消費している認識。

問　ビール工場や夢とりでなどを回るモデルケースを作成し、観光客からの声を集めて磨いていっては。

まちづくり振興部次長　バスツアーの「よいとこプラン」で取り組んでいる。今後、拡張していきたい。

問　国体や市制50周年に合わせ、ホテル等、民間事業者と話し合いを持っては。

答　過去に民泊についても検討したが課題があった。国の法整備は東京がメインになる見込み。取手でのニーズがあるか勉強していく。

【その他の質問】文化芸術施策の充実

高齢者対策に配慮

落合　信太郎　議員

問　移動販売による買い物支援事業の取り組みの現状と課題について伺う。

まちづくり振興部長　現在、18地区22地点で、年間約1万5000人が利用。市独自の事業として、事業者に対し、買い物補助員の人件費の補助を行っている。

問　採算は取れているか。

まちづくり振興部次長　補助員の人件費は販売コストに乗せられない。その部分は市が補助。

問　補助員の資格は。

答　資格は特に必要ないが、配慮のできる方が現在担当している。

問　高齢者移動支援について、介護支援ボランティアの運転手が不足していると広報に掲載されたが反応は。

福祉部長　講習会に定員を超える申し込みがあった。秋にも講習会を実施し、今後の移送サービスの担い手として活躍を期待。

問　今後この事業の展望は。

福祉部次長　市内の社会福祉法人に呼び掛けたところ、1法人が参加していただけることになった。今後も協力を仰いでいく。

問　買い物支援に合わせ、高齢者に行政情報の発信を。

移動スーパーには買い物補助員（写真右）がいて安心

まちづくり振興部長　事業者と協議し、検討する。

【その他の質問】地方創生の本格的事業展開

子育て支援策のさらなる充実を！

池田　慈（めぐみ）　議員

問　平成52年の将来人口目標9万人を維持するためには合計特殊出生率1・74が必要。実現可能か。

健康増進部長　数値目標は立てていないが、子育て支援のためのさまざまな事業は実施している。

問　市独自で保育料の減免・無料化の考えは。

福祉部長　多額の財源確保が必要。国の動向を注視。

問　小中学校入学祝金の支給を求める。

教育部長　要・準要保護世帯等に、今年度はこれまでの約2倍の援助で対応している。

問　学力支援のため先生の配置の考えは。

答　少人数にきめ細やかな学習等を行う環境を整備している。

問　いじめ防止対策を機能させる決意を。また、予算措置は。

市長　命の大切さの教育をしっかり取り組んでいく。条例整備についても議会と一緒に考え、市に合うものを策定したい。予算措置も行う。

問　ワンクリックで子育て等の情報を得られるホームページ作成を。

福祉部長　十分利用しやすい構成になっている。新たなページ作成の考えはない。

【その他の質問】定住・移住施策

自主防災組織への補助金見直しを！

関戸　勇　議員

問　市内には88の自主防災組織が結成されている。結成時に必要な資機材を購入するなど、年15万円を3年間支給される補助金と運営の補助をする補助金がある。資機材補助金を見直し、一定の大きさの防災倉庫が確保できるように補助制度の見直しを。

総務部長　今のところ考えていない。市では、行政改革によって補助制度の見直しなど行っているが、自主防災会組織の補助金は打ち切りなどせず、力を入れている。

問　防災意識向上のため、全市一斉にサイレンを鳴らし、市民が各自、危険回避行動を取る「シェイクアウト訓練」の実施を。

総務部次長　市では、5年に1回、総合水防演習を実施し、昨年は1万4000人を超える参加者があった。また、一昨年には図上訓練を行った。シェイクアウト訓練は、参加者数が分からなかったり、効果が分かりにくい。自主防災会等で取り入れていただきたい。

【その他の質問】崩れたのり面の修復、スポーツ基本法をいかしたスポーツ行政の拡充、学校跡地の活用

どうなってる？空き地対策

細谷　典男　議員

問　市内にも空き家、空き地が目立ってきている。空き家に関しては、法律が施行され対策の第一歩となった。しかし、空き地対策の具体策がない。現状を伺う。

まちづくり振興部長　28年度236件の空き地の雑草等への対応要望があった。市では条例を制定し、所有者等に管理徹底をお願いしている。

問　所有者の経済的事情や遠隔地居住、相続による所有者の特定が困難等の問題がある。市の対応は。

まちづくり振興部次長　現地調査によって、管理不十分と判断した際は、所有者、地目を調べ、所有者等に対応を通知。地目が農地の場合は、農業委員会で対応。

問　藤代庁舎裏の市街化区域に、宅地に囲まれた農地が荒廃して残っている。こういったケースへの対応は。

農業委員会長　農地の利用状況の確認をしながら耕作放棄地の解消に努めている。

【その他の質問】教育現場における勤務時間の把握と教員の健康管理、取手駅を中心とした周辺の今後の動向

大型モニターで分かりやすく

この第２回定例会から、議場の音響と視覚設備が改装されました。プロジェクターにより、120インチのスクリーンに写真や動画が映し出されます。一般質問をした多くの議員や、様子を見た傍聴者からは、すごく分かりやすいと好評でした。